

李登輝・台湾前総統30日に来日、授賞式出席・講演も

台湾の李登輝・前総統(84)が5月30日から6月9日までの日程で来日する事が決まった。

招請した国際教養大学の中嶋嶺雄学長によると、今回の来日は学術・文化交流と観光旅行を目的としたもので、家族も同行するという。

政府は台湾からの短期滞在の観光客について査証(ビザ)を免除しており、李氏もビザなしで来日する。

日本滞在中、李氏は6月1日に、東京・六本木の国際文化会館岩崎小弥太記念ホールで行われる「第1回後藤新平賞」授賞式に出席し、同賞を受ける。

その後、「奥の細道」のルートをたどって栃木、宮城、岩手各県などを回る。7日には、都内で「2007年以降の世界情勢」について講演し、政財界関係者と交流。9日の離日前に記者会見も予定している。

李氏は総統退任後、01年4月と04年12月の2回、病気療養や観光目的で来日したが、講演や東京滞在は避けていた。政府は今回、李氏が総統退任後、すでに7年が経過していることから、これまで以上に自由な行動を認める方針だ。

(2007年5月15日20時3分 読売新聞)

<http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20070515i212.htm?from=main2>